

2022年度 個人研究実績・成果報告書

2023年 4月 24日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	田原 慎二
研究課題	・国際分業のもとでの産業構造変化と経済成長に関する実証研究 ・基本価格表示の国民経済計算をはじめとする経済統計の推計手法改善に関する研究				
研究キーワード	国民経済計算、産業連関表、 産業構造変化、経済成長	当年度計画に対する 達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	1. 貧困をなくそう	8. 働きがいも経済成長も	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>「国際分業のもとでの産業構造変化」に関しては論文を1本作成し、書籍『制度と進化の政治経済学 調整の重層性と多様性』のうち一章として掲載した。</p> <p>経済統計に関しては2015年基準のJIPデータベースの作成を進め、2023年度にJIPデータベース2023として公表される予定である。また、市川市を対象とした産業連関表の概算値と報告書を作成し、学会報告を行った。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>『制度と進化の政治経済学 調整の重層性と多様性』、磯谷明徳・植村博恭編著、2022年、日本経済評論社（第7章「産業連関分析による成長レジームの波及効果推定」（pp.158-181）の執筆を担当。）</p> <p>【学会発表等】</p> <p>「2015年市川市産業連関表の推計とその分析」、環太平洋産業連関分析学会大会、2022年10月、桃山学院大学和泉キャンパス</p> <p>3. 主な経費</p> <ul style="list-style-type: none">・参考文献となる書籍・資料の収集に使用した。・計算に用いるデスクトップPCの購入に使用した。 <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <ul style="list-style-type: none">・経済社会総合研究所客員研究員（内閣府）・産業連関技術会議委員（総務省）・東アジア生産性プロジェクトメンバー（経済産業研究所（RIETI）） <p style="text-align: right;">（本文は2ページ以内にまとめること）</p>					